

おだがいさま

odagaisama

第 19 号
平成 20 年
11月15日発行

PONY SCHOOL in SHONAI 2008

福祉のつどい(P2~P4)

歳末たすけあい運動のお願い(P5)

情報掲示板(P6)

庄内ポニースクール実行委員会

ポニースクールは平成14年度に、大山地区の豊かな自然の中で、障がい児やストレスを抱えている子ども達などに、乗馬体験と地域の方々とのふれあいの場を提供するために始まりました。

今年度は、10月17~18日に旧鶴岡西高等学校の野球場で開催しました。当日は、実行委員であるボランティアスタッフが中心となり、地域の方やボランティアセンター、NPO団体などの協力のもと、福祉施設の利用者をはじめ地域に住むたくさんの親子が参加し、交流を深めていました。

この事業は「赤い羽根共同募金」の助成を受け実施されています。

福祉のつどい

おだかいさまのまちづくりを目指して

去る10月31日(金)、鶴岡市中央公民館市民ホールにおいて第2回福祉のつどいを開催しました。あいにくの雨模様でしたがたくさんの市民の皆様にご参加いただきました。当日の概要を紹介します。

オープニング くしびき保育園・同東部分園、鶴岡市櫛引東部児童館の園児の皆さんによる歌と遊戯

講演

講師 秋田県男鹿市宋泉寺住職

長谷川 恵光氏

「自身の経験をもとにした、」講演の内容の一部をご紹介します。



略歴

昭和16年 秋田市に生まれる
昭和42年 宗泉寺住職と結婚
昭和46年 夫と死別・出家
昭和47年～昭和49年 福島県好国寺専門
僧堂において修行
昭和49年 曹洞宗宗泉寺住職となり、現在に至る。

お寺に嫁いで三年二ヶ月で住職の主人が亡くなりました。まだ二歳と生後五ヶ月の子どもがおり、私が出家する時、実家の親は私を勘当しました。おそらく、「小さな子どもを抱えて寺の住職になるなどんでもない、早く実家に帰りなさい」ということだったのでしょうが、若かった私は親を恨みました。修行を終え、母は私が剃髪した時の髪を畳紙に入れ、毎日、仏壇に供えて娘の無事を祈っていたことを聞かされました。本当に辛くて寂しかったのは母だと、その時、親の悲しみを知りました。親が子どもを思う心は今までは当然のこととされてきました。人の悲しみを自分の悲しみとして寄り添える心、この感性を育てるのは家庭です。親を真似て子は育ちます。

最近、虐待や殺人など親子関係がこんなにも崩れてしまったのかと思うことが多くあります。自分の子どもだけ良く育っても、隣の子どもや家族

が不幸だったり、人を恨んだりしていたら、いつ自分に矛先が向けられるか分からない。だから、皆が幸せでなかったら、私たち全員の幸せ、自分の幸せはないということです。皆どこかでつながっている人生、運命共同体です。私が修行中、二人の子ども達を育ててくれたのは檀家さんや近所の子ども達です。今もお隣の子どもの面倒を見ている檀家さんいます。私は、福祉とはそういうものだと思うのです。近所付き合いを大事にしながら、助けたり、助けられたり。あかの他人など一人もいないことを仏教では教えています。命が粗末にされる昨今、命とは何かを考える時代になったのではないのでしょうか。私達の命は、三代遡ると八人、十代遡ると千二十四人。一人欠けても誕生しない尊い命です。

この頃、自殺したいという子どもがお寺に来ます。自殺した遺族の悲しみは生涯残ります。私も自殺をしたくなったことがあり、海へ飛び込もうと思った時、脳裏をよぎったのは私の無事を祈っていた母の顔でした。絶対の受容で愛してくれた人を悲しませてはいけなさと心から思い、死ぬことは出来ませんでした。どうか家族、隣人、友人へ「あなたが死んだら悲しむのよ、大事に思っているのよ」という愛情を常に発信してほしい。私は愛されていると思うことが生きる原動力になるのです。一番の苦しみは、一人ぼっちで誰からも愛されていないと思うことではないでしょうか。一人ひとりが身近なところに手を差し伸べ、むこう三軒両隣の心で周りが幸せになる努力をすれば、きっと良い福祉社会になるに違いありません。

市社協の活動紹介

鶴岡市ボランティアセンター

鶴岡市社協の活動紹介として、鶴岡市ボランティアセンターの概要について紹介しました。

☆ボランティアセンターの概要

鶴岡市ボランティアセンターは、ボランティア活動の拠点として平成元年に設立し、今年で二十年目を迎えます。平成十九年度のボランティア登録数は、各福祉センターを合計すると個人四四〇名、一五九団体になり、約六千名の会員が地域の中で活動しています。ボランティアセンターの六つの役割をスライドを使って説明しました。



『相談・紹介』

ボランティア活動に関する相談や紹介、個人・団体・サークルなどへの登録を受けています。

『養成・研修』

ボランティアの啓発・人材育成を目指し、ボランティア講座の開設や、小中学校において福祉体験学習の協力などを行っています。

『ネットワークづくり』

関係機関とのネットワークづくりとボランティア活動の活性化の支援として、交流会の開催や、学区・地区社協・サークルなどとの連携を図っています。

『活動へのサポート』

ボランティア活動に関する人材の紹介や各種物品貸出（車イス・疑似体験セット・ビデオなど）、収集活動や募金の取りまとめを行っています。

『情報サービス』

ぼらせん便りの発行（毎月十五日）やボラメールの配信による情報収集・発信を行っています。

『保険の加入・促進』

活動中のケガなどを補償する「ボランティア活動保険」や、行事におけるケガなど補償する「ボランティア行事保険」など各種保険を取扱っています。

☆寸劇

今回の福祉のつどいでは、鶴岡市ボランティアセンターの日ごろの相談・受付の様子を、寸劇と、現在ご活躍中のボランティアさん三名の体験談を交えながら、楽しく紹介しました。



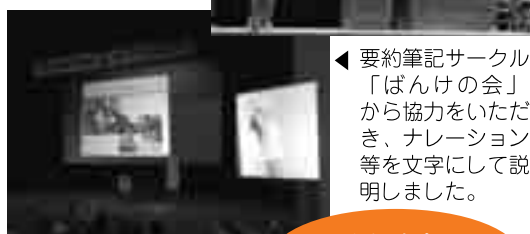
▲今年、会社を定年退職した「母良 千太さん」は、妻の勧めでボランティアセンターを訪れ、ボランティア活動についての説明を受けます。



▲先輩ボランティアさんからの話を聞いて勇気づけられた千太さんは、ボランティア活動の始めの一歩を踏み出すこととなりました。

手話通訳

手話奉仕員さんたちが手話で通訳を行いました。



◀要約筆記サークル「ばんけの会」から協力をいただき、ナレーション等を文字にして説明しました。

要約筆記

手話通訳・要約筆記

福祉施設製品の展示・販売



▲おからや、よつばの里、じゃがいも畑、さくらが丘、もみじが丘、かたぐるま、鶴峰園の7施設が出店しました。



福祉のつどい

おだかいさまのまちづくりを目指して

表彰状・感謝状の贈呈

長年、地域福祉の向上に貢献された方々へ
富樫会長から表彰状・感謝状を贈呈しました。

表彰状

* 齋藤 武氏 (鶴岡地域)

昭和六十年の第一学区社協立ち上げに寄与され、常任理事を務め、一人暮らし高齢者を中心とした会食交流会活動や広報紙(学区社協だより)などを担当し、地域福祉の向上に貢献されています。

* 茅野 進氏 (鶴岡地域)

一人暮らし高齢者の見守り支援体制を確立し、平成八年にお茶のみサロンを立ち上げるとともに、第五学区社協会長としてボランティア協議の会の発足や、本市で初めて学区地域福祉活動計画を策定するなど先駆的な活動をされています。

また、市学区・地区社協連絡委員会委員長を務めるなど、地域福祉の向上に貢献されています。

* 齋藤 元枝氏 (羽黒地域)

平成五年からボランティアグループ活動を通じ、山間地域の高齢者の閉じこもり防止のため、地域で初めてサロン活動を開始し代表世話人を務めるほか、食事サービス・福祉施設訪問や民生児童委員としてのリーダー的な存在として地域福祉の向上に貢献されています。

* 小細澤 和子氏 (藤島地域)

昭和六十一年から、櫛引福祉センターで実施している高齢者いきがい健康づくり事業「ことぶき教室」の舞踊講師として高齢者の健康福祉増進に寄与、また特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの福祉施設を慰問するなど、地域福祉の向上に貢献されています。

* あさひ婦人の会 (朝日地域)

平成元年の設立以来、国道及び県道沿いの花植えや除草管理、また、平成五年から福祉施設でのボランティア活動のほか、アルミ缶収集で得た収益で特別養護老人ホームなどの福祉施設には車椅子、保育園には絵本を寄贈するなどの活動を実践し、地域福祉の向上に貢献されています。

* 広田 洋子氏 (温海地域)

平成五年に結成された一人暮らし高齢者等に手づくり弁当を配食する「あたたかグループ」の活動を推進するとともに、現在は会長として、配食に加え見守りや交流活動を行い、地域福祉の向上に貢献されています。

感謝状

* 工藤 恭子氏 (鶴岡地域)

平成九年の第二学区社協設立時から評

議員を務め、コーディネーター活動のほか、高齢者会食会ボランティア代表として、地域福祉の向上に貢献されました。

* 河野 善一氏 (鶴岡地域)

平成七年以来、栄地区社協の副会長・会長を歴任されたほか、お茶のみサロンの代表を務めるなど地域福祉の向上に貢献されました。

* 五十嵐 郁夫氏 (鶴岡地域)

平成十年以来、栄地区社協の副会長・会長を歴任し、地域福祉の向上に貢献されました。

* 山本 敏子氏 (鶴岡地域)

平成七年の由良地区社協発足以来、理事・副会長として、会食交流会や福祉まつりなどに積極的に協力し、地域福祉の向上に貢献されました。

* 齋藤 昇氏 (藤島地域)

平成九年旧藤島町社協評議員、福祉員、理事を歴任されるとともに、平成十二年から民生児童委員、同協議会会長として、また、平成十七年から本社協理事・副会長として法人運営全般と地域福祉の向上に貢献されました。

平成
20年度

歳末たすけあい運動に ご協力をお願い申し上げます

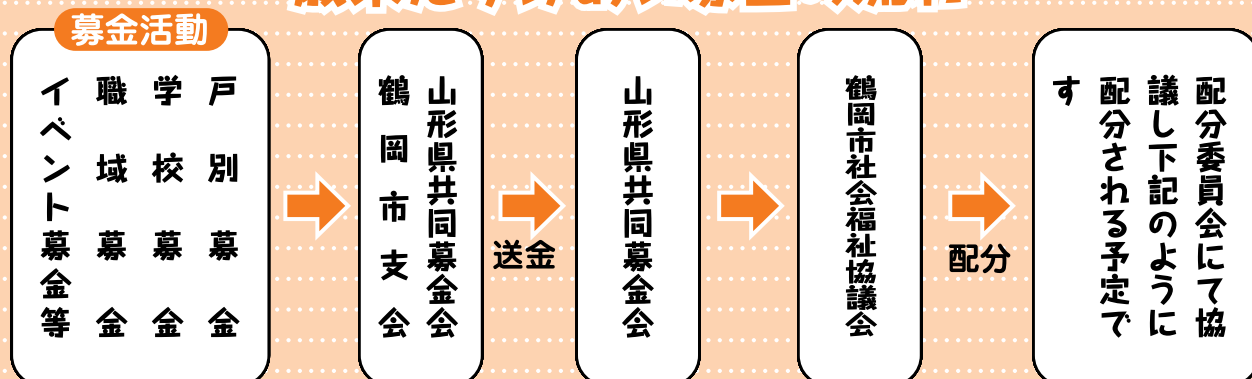
今年度も共同募金運動の一環として、『みんなでささえあう あったかい地域づくり』
をスローガンに、歳末たすけあい運動が展開されます。

皆様からご協力いただきます募金は、鶴岡市社会福祉協議会配分委員会において、経済
的に支援を必要としている世帯等に対して配分される予定です。

◎運 動 期 間 11月1日（土）～12月31日（水）

◎お願いしたい募金額 1世帯あたり 210円以上

歳末たすけあい募金の流れ



◆皆様からご協力いただきます歳末たすけあい
募金の配分・贈呈予定先

- ①経済的に支援を必要としている世帯へ
- ②児童養護施設の入所児童・生徒へ
- ③社会福祉協議会の地域福祉活動事業へ



歳末たすけあい運動の趣旨をご理解いただき、
何卒ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

情報掲示板

第2回つるおか みみまつり開催

表情豊かな聴覚障がい者と語り合い、なごやかな雰囲気の中で「大きなふれあいの輪」をつくりませんか？ぜひ気軽にご参加ください。

- 主催 つるおかみみまつり実行委員会
- 日時 平成20年11月16日(日)午前10時～午後3時
- 会場 鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま
鶴岡市ほなみ町3-2 ☎28-3136 FAX29-2294
- 内容
 - 映画上映「神様からの贈りもの」
 - 福祉機器の展示
 - 山形県酒田聾学校の情報PR
 - 要約筆記体験・手話
 - ミニ講座 ●模擬店
- 参加費 無料



鶴岡老人福祉センターまつり開催

- 日時 平成20年11月18日(火)
午前9時30分～午後3時30分
- 会場 鶴岡老人福祉センター
鶴岡市馬場町13-2 ☎24-0066
- 内容 歌や踊り、軽食コーナー、作業所などによる出店



鶴岡市中央児童館 フリーマーケット開催

- 日時 平成20年11月23日(日)
午後1時～3時30分
- 会場 鶴岡市中央児童館 プレイルーム・幼児室
鶴岡市苗津町1-1 ☎24-4608 FAX24-5773
- 内容 乳幼児から小学生くらいまでの子どもが使用する衣類・玩具・小物などを全て500円以下で販売します！

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成20年8月21日から平成20年10月20日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

鶴岡なつメロ愛好会 様 100,000円
後藤 晃 様 300,000円
鶴岡カラオケ友の会 様 30,000円
前田 成巳 様 50,000円
庄内なつメロ会 様 150,000円

◎藤島福祉センター

匿名 急須1個、茶碗25個
藤島ゲートボール協会 様 15,000円
曹洞宗山形県第三宗務所第九教区 様 40,000円

◎羽黒福祉センター

山中 秀一 様 30,000円
匿名 100,000円

◎櫛引福祉センター

佐藤 嘉平 様 車イス1台

◎温海福祉センター

丹治 正平 様 30,000円
田川建設労働組合 温海分会 様 15,355円

★なえづ老人デイサービスセンターへ

中島 末治郎 様 商品券5,000円
庄内ミート(株) 様 生花

★高齢者福祉センターおおやまへ

でこぼこの会 様 30,000円
山中 峰雄 様 50,000円

阿部 金蔵 様 エアーマット、タンス、藤の三段籠
匿名 100,000円

★大山児童館へ

佐藤 重子 様 衣類10枚

★くしびき在宅介護支援センターへ

阿部 丈夫 様 ポータブルトイレ1台、ゴミ箱1個

★デイサービスセンター愛寿園

山形県庄内郵便局長会 様 タオルケット2枚

「くしびき保育園・東部分園、東部児童館の年長児が、福祉のつどい“のオープニングで歌と遊戯を発表しました。当日はとても緊張していましたが、大勢のお客さんの前で堂々と楽しく踊っていました。」

当日が近づくにつれ、「緊張してきた…」の声も多くなりましたが、「うっとうさ」「こうだよ」と子ども達同士で教え合う姿も増えました。また、本園と分園の子ども達は園外保育などで交流を深めてきたので、「頑張ろうね」とお互い励まし合っているのがとても微笑ましかったです。小さな心の支え合いが当日の姿につながっていたようです。ひとつに向かつて頑張る子ども達って、より輝くものですね。

(S・M)

「くしびき保育園」

「くしびき保育園」

おだがいさま

第19号

平成20年11月15日発行

発行部数 49,500部

編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市西新斎町14-26

TEL 24-0053 FAX 23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-3266

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。